

令和2年12月22日

新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 報告についての意見

東京都立あきる野学園
校長 市川 裕二

1 全体を通して

今回の報告書において、「更なる整理・検討が必要である」等、今後の検討が指摘された課題については、速やかな検討の開始をお願いする。その際には、検討が必要な課題の項目出しと、項目ごとの検討の方法やスケジュールについても、整理して明示してほしい。

2 特別支援学校における教育環境の整備について

(1) 著作教科書（知的障害者用）を作成することについて

各特別支援学校では、先般の特別支援学校学習指導要領の改訂を踏まえた教育活動の充実を図っているところである。知的障害の教育課程において、充実の要となる国語、算数・数学、音楽以外の未作成の教科書の著作教科書の作成は、できるだけ速やかに進めてほしい。一度にすべての未作成の著作教科書の作成を進めることは、困難であると考えられるが、その場合は、まず、教科書を使用して学習する場面が多いと考えられる中学部における理科・社会、その前段階となる小学部における生活の作成・発行を速やかに行っていただきたい。続けて、実技が伴う図工。体育等の教科書の作成を進めていただきたい。

(2) 特別支援学校設置基準の策定について

現在、各都道府県では、特別支援学校の教室不足の解消に向け、特別支援学校の新設校の設置や校舎の増築を計画していると考えられる。こうした計画に反映できるように、都道府県教育委員会との連携を図りながら、特別支援学校設置基準の策定を進めていただきたい。